

カトリック 仙台教区報

2002年 4月 20日 No.145

発行
カトリック仙台司教区

〒980-0014 仙台市青葉区本町 1-2-12

Tel (022) 222-7371 Fax(022)222-7378

発行責任者 本部事務局

広報担当 田中丈夫

URL ; <http://sendai.catholic.jp/>

ラザロの復活

仙台教区 司教 溝部 脩

ヨハネ十一章のラザロの復活の場面を読むと、不思議なことばに出会います。あれ程愛していたラザロが病氣だと聞いても、イエスは彼の家庭を訪れません。死んだと聞いても、「わたしがそこに居合わせなかったのは良かった(15)」と答えています。ラザロとその姉妹マルタとマリヤは、イエスにとって最高の友でした。生前幾度となくイエスは彼らの家庭を訪れ、楽しい会話を弾ませ、飲み食いもしていた筈です。それでもイエスは彼らにとって一番大切な人生の時に訪れません。一体なぜなのでしょう。

これが分かるためには一つのことばが同じ十一章に載せられています。「この病氣で死ぬことはない。それは神の栄光のためである。神の子はそれによって栄光を受けるであらう」(4)。

病氣だからといってすぐに駆けつけることをしません。それは病氣を通して、死を通して、人が神の考えをしつかりと理解するためな



私たちの人生にとってイエスは決して召し使いではなく、かけがえのない私たちの「主」であることを思い出させているのです。「わたしは復活であり、いのちである」(25)のです。わたしたちは主の手の中にあり、主の思召しに従って生きるのです。復活とは、聖父なる神の思召しに応えて生き、死んだイエスに学んで生きることをさしています。毎日の生活の中で、わたしたちに何を神様がお望みになるのかを問いかけてみるのが大切です。

復活節の間、私たちも「あなたがわたしに何を望みなのですか」という問いかけを

したいものです。

『残滴』

(ざんてき)

残りのしずく、紙面の付け足し、の意味。

今回から、佐藤守也神父の『心の泉』に変わり、三浦平三神父の『残滴』が掲載されます。

残滴

復活祭が過ぎ司祭異動も一段落して、教区は決意を新たに福音宣教を再開する。これは教区や小教区教会などの組織が主と

なるが、現実には信徒や修道者、聖職者の個人的な意欲に支えられている。つまり信者各自がどれほど福音宣教を理解し、意識を持つているかということ。云うまでもないが福音宣教を抜きに教会は存在しないし、それはすべての信者に与えられた使命である。今日はそのうち福音宣教の意欲を生む、私たちの信仰意識について考えてみよう。洗礼を受けてカトリック信者となった事実をどのように受け止めているのだろうか。幼児洗礼でも成人洗礼でも、信者となつたことを喜びと誇りに思っているのだろうか。他人がそれを判断するのは難しいが、自分で確かめることは出来る。例えば信仰行為や教会共同体のため、どれほど恣意(自分勝手な気持ち)を抑えられるかなど。隣人愛のことは云うまでもない。要するに自分の信仰に喜びや誇りを感じないなら、福音宣教への意欲など湧く筈もない。ただ信仰意識は自分の心がけ次第で、成長もするし成熟させることも出来るものである。(平)

司牧評議会の新たな出発

一六二四年

去る三月二十一日(木)カトリック仙台司教区センターに、評議員の理解が深められた。おいて、司牧評議会条例改訂「第一回司牧評議会定例会議報告」開催された。司牧評議会は一九九八年六月佐藤千敬司教の引退とともに解散されたが、溝部脩司教着座後約一年半を経て、その活動が新たな出発を迎えることになった。

今回溝部司教によって召集された司牧評議会定例会には、司教はじめ各県司祭代表・各県信徒代表・修女連代表など十六名が出席し、仙台教区の今後の宣教・司牧の歩みについて議論を深めた。議案となっていた「カトリック仙台司教区司牧評議会規則」の改定及び「各県の当面の課題(仙台教区の活性化に向けて)」については、各県連絡協議会での論議を踏まえて討議が交わされ、青少年育成・ホームページを活用した宣教態勢等の課題が提示された。また、司教館建設委員会の動きについての報告もなされ、司教

一月、仙台城下を流れる凍りつくよ
うな広瀬川でポルトガル人宣
教師デイエゴ・カルヴァリオ神
父と八人の信徒が寒中(水薫杉教会
に合い壮烈な殉教をとげた。信
仰のために生命を捧げてキリ
ストの証人となった殉教者た
ちを偲び、その模範に倣うこと
によって、私たちも現代におけ
る証人となれる恵みが与えら
れることを願いながら、殉教録
の朗読に耳を傾け、河原に向か
つて黙祷を捧げ、各教会の代表
から共同祈願、献花が捧げられ
た。式の中でシャルル・エメ・ポ
ルデュック神父から殉教の意
味、時代背景が説明された後
「信仰の立場から見れば殉教
者は全人類の救世主になった。
殉教を受けた人は信仰の目と
なり、その心は現在の私たち信
者に引き継がれている。私た
ちは仙台市民一〇〇万人の
人々によい知らせを宣べ伝え、
キリスト者として証する使命
を持つている。」とのメッセー
ジがあった。

風はやはり冷たく、殉教者の強
い信仰心を改めて感じながら
聖歌を歌い碑を後にした。
久ヶ澤)

聖香油ミサに参加して

三月二十七日午後一時三〇分
から、仙台元寺小路教会大聖堂
で、溝部司教様の司式による聖
香油ミサ、併せて、助祭叙階式、
助祭・司祭候補者認定式が行わ
れた。

町教会出身)と舟山亨氏(福
島・松木町教会出身)。両氏は
「神と人への奉仕と献身」を
公に表された。「...教会は
喜びをもって受け入れます」と
の司教様のお言葉を賜り、認定
される。「兄弟たちが主に固
く結ばれ、キリストの証人とな
れますよう」共に祈り、祝福
された。

仙台キリシタン殉教祭

今年も仙台教区の仙塩地区

八教会主催による「仙台キリシ
タン殉教祭」が二月二十四(日)
午後一時から、広瀬川河畔の青
葉区西公園内「キリシタン殉教
碑」前広場におよそ二〇〇名が
参加して行われた。



ミサは仙台教区司祭約五十
名、信徒は仙台の各教会、修道
院、遠く会津若松教会などから
の参加もあり、大聖堂の一、二
階席がほぼ埋め尽くされた。当
日は溝部司教様の叙階式に次
ぐ盛大なミサとなった。

ミサの中で司教様から、教皇
様のメッセージが伝えられる。
「...主の教えをよく黙想し、
信じたことを教え、教えたこと
を実行するよくに心掛けなさ
い...」。このお言葉が印象
的だった。共に、司祭のために
祈りがささげられた。

引き続き助祭叙階式へ。メキ
シコ(出身の神学生セルヒ
オ・エルナンデス・カレラ氏(グ
アダルペ宣教会)が呼ばれる。
カレラ氏はこれまでのご活躍
が認められ助祭叙階された。大
きな拍手で祝福を受けられた。
式の中で司教様の訓話、問
い掛けは、「自分自身への呼び
かけ」と受け止める。式後、
信徒ホールで茶話会。喜びを共
に分ち合う。メキシコから駆
けつけられたカレラ師のお母
さんの姿も見られた。

続いて、助祭・司祭候補者認
定式が行われた。候補者は神学
生坂本耕太郎氏(青森・八戸塩

帰路、司教様のお言葉が浮か
ぶ。「...貧しい人、苦しい人、
助けを必要とするすべての人
に主の名によって神の慈しみ
を示しますか...」。洗礼式を
思い起こし、沈丁花の香る街を
帰った。(東仙台教会・佐々木)

青森 本町教会

(3) 写真は、雪に埋もれた新年会の餅つきの一コマです。大賑わいでした。

「復活祭の早い年は春も早い」と言われますが、確かに山のように教会を覆っていた雪も、いつの間にかその姿が消えてしまいました。

今年の復活祭は、新しい仲間（元、篠田教会の方々）四・五十名が増えますので、二〇〇名を越える力強い復活祭になりそうです。ただ、昨年着任したばかりの主任司祭ラフォルト神父様が、体調が思わしくなく、間もなく本国力ナダに帰国されるのが残念です。

本町小教区には、松ヶ丘巡回教会をはじめ、藤聖母園が経営



するたくさんさんの施設や幼稚園、保育園などがあって、それぞれがキリスト様の思いを第一にして、懸命に働かれております。

本町小教区は、本当に神様の恵みと祝福の豊かな小教区だと思っております。（新松）

岩手 水沢教会

水沢教会は、一九五〇年ベトレム外国宣教会によって誕生、昨年五〇周年記念式典を行いました。

水沢教会は「後藤寿庵」の教会として知られています。

後藤寿庵は伊達正宗の家臣として福原（現在の水沢市、胆沢町の一部）を治めたキリシタン領主であり、当時の宣教師からアラビアの砂漠の様々と書かれたほど、荒れて水不足に苦しめられていた胆沢平野の開拓に尽力しました。

彼が開いた水路は後に「寿庵堰」と名づけられ現在も大切な水路として利用されています。寿庵はカトリック信者から

ただではなく、地元の人々からも尊敬され、親しみを込めて「寿庵様」「寿庵先生」と呼ばれています。

毎年、五月の最終日曜日（今年は五月二六日）に教会主催で



「後藤寿庵大祈願祭」を行います。これは地元の人々や市の関係者も多く参加し、地域に根付いた催しとなっています。

没後四〇〇年経ても神と貧しい民に仕えた後藤寿庵の陰で宣教に励むことができません。また、宣教師たちが始められた寿庵祭を続けていくことが何より感謝の表現であるし、宣教にとって大切なことであると考えています。

たくさんの方が寿庵祭に来られるのを待ち望んでいます。（千田）

宮城 北仙台教会

わたしたち信徒の十年來の『夢』だった、新信徒館が皆様の支えと祈りによって二〇〇二年二月に完成を迎えることができました。

「信仰を通して心のふれあうことのできる教会」「誰でもが自由に参加し活動できる教会」「地域・社会に貢献できる教会」を目差し、この「信徒館」をどのように活用していくの



か、わたしたち一人ひとりが真剣に考え話し合いながら、キリスト者としての使命である、福音宣教の「場」となり得るよう努力し確認しているところで

例年になく、信徒・未信者の垣根を越えた大勢による「主の復活の喜びの分かち合い」、初めての試みでしたが信徒全員による「ブロック集会」。改めて「開かれた教会」の意義を思い起こす機会が得られたこと、テーマの目的に一步前進できたことと思います。

わたしたちは、この「場」をとおして「新生北仙台教会づくりに」ができるよう邁進しております。（江刺）

福島 喜多方教会

喜多方教会は、会津地区の神父様、シスターの皆様、信徒の皆様の助けを得て、教会活動をおこなっております。今年に入り、二つのすばらしいお恵みをいただきました。

一月十三日に溝部司教様の訪問があり、信徒一同大きな喜びでした。信徒数が少ないこともあり、盛大な歓迎はできませんでしたが、ありのままの喜多方教会を見ていただいたと思います。また、喜多方の地が司教様のご家族ともご関係があったことを聞き、たいへん驚きました。

また、三月三十日の復活の聖なる徹夜祭に、洗礼式がおこなわれました。喜多方教会で成人の洗礼式がおこなわれるのは、約九年ぶりです。洗礼式のお祝いと復活祭のお祝いを一緒にできたすばらしい復活の主日でした。

小さな教会ですが、聖堂の大壁画を見に来てください。イエス様が両手を広げて迎えてくれます。（山田）

八木山教会竣工祝別ミサ

三月二十四日枝の主日に、八木山教会竣工祝別ミサが、溝部脩司教とフェデリコ神父ほか四



名の司祭の共同司式で行われた。一時から建物の外で、水の祝別、建物の祝別、枝の祝別が行われ、「しゅろの葉」を歌いながら、約一二〇名の人々が入堂した。

聖堂正面の十字架像は、旧元寺小路教会聖堂にあったもので、祭壇は旧石巻教会聖堂で使用していたもの、説教台や洗礼台は旧篠田教会からのものである。また、マリア像は下井草教会から寄贈され、オルガンはオルガニスト佐々木しのぶ氏の好意により半永久的に借用

することになった。早坂貞彦・榎戸悦両氏合作のステンドグラスも寄贈されたもので、八木山教会の守護者の「聖霊」を表す鳩がデザインされている。遠く綾部教会や旧篠田教会からの参列者もあり、様々な人々の物心両面からの援助や協力によつて竣工となった事を深く感謝するとともに、今後の共同体の霊的社会的発展を祈った。

ミサ後、幼稚園ホールを借りて祝賀会（出席者約一五〇名）が開かれ、教会関係、町内会、工事関係等の人々のスピーチや、土曜学校と青年部、有志による余興などがあり、和やかな内に閉会した。しかしこれで終わりではなく、建物を足場として、今度は本

当の意味での教会建設が始まる。四月からは仙台中央地区に編入されて共同司牧となり、教区には再編という大きな課題がある。昨年一月十六日に焼け出されてから、小教区に安住せず教区に協力して新生を目指す事を決心し、何十回もの会議でそれを表明し困難を乗り越え、建物が出来上がった。この日の福音にある、枝を持ってキリストを喜び迎えた人々が、今度は十字架につけると叫びたてる、そういう心変わりがこの教会にあつてはならない。工事担当者銭高組大星篤郎氏の、「私たちは建物を建てました。その建物をどう生かすかは、皆さん方にかかっています。」というスピーチの言葉が印象深い。（竹内淑子）

私の気分転換

神学生 木村 国基

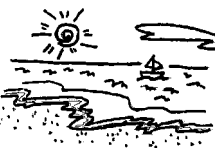
十五年前ぐらいから、毎年通い続けている浜辺がありま

す。大きな海水浴場のとなりにあるその浜辺は、いつも静か

かです。一五年前は自転車で、一〇年前からは自動車

で、毎年必ず何度かはおとずれて

います。その浜辺で何をしてもなく、缶コーヒーを飲みながら



今年も波打ち際を歩きに行こう。



修道院紹介

コングレガシオン・ド・ノートルダム

花園町修道院

花園町にあるから花園町修道院なのですが、もともとここは霞内という地名でした。戦後、修道院の庭に花木や草花がたくさんあつたことから町名変更の際、「花園町」になりました。一九三二年にカナダから五名の修道女が福島に来日したことから日本におけるコングレガシオン・ド・ノートルダムの歴史が始まりました。

創立者、聖マルグリット・ブルジョワは、聖母マリアがエリザベトを訪問して奉仕したご訪問の精神に倣いたいと望みました。ですから、コングレガシオンの娘たちは、今も創立者の精神を生き必要な所にはどこにでも出かけ宣教します。福島に派遣され、今年で七〇周年を迎えます。現在二八名のシスターたちが信仰共同体を作り、幼稚園から短大までの若者約一八〇〇名の学校教育や信仰教育に積極的に関わり続けています。